

ARIBからの
お知らせ

【情報通信月間参加行事】

「周波数資源開発シンポジウム2008」開催のお知らせ

社団法人電波産業会は、独立行政法人情報通信研究機構と共催で「周波数資源開発シンポジウム2008：新たなアクセス系インフラストラクチャーへの期待」を、平成20年6月6日(金)に開催します。

現在、無線メッシュ等の新しい技術やユーザー自身が置局するビジネスモデルを伴った新たなタイプのアクセスネットワーク（微小無線セル）が出現しつつあります。こうした技術は、これまでのセルラーやホットスポットと相互補完することで、無線ネットワーク全体の周波数利用効率が大きく向上でき、ユビキタス、センサーといった新たなアプリケーションサービスの提供が期待されています。今回のシンポジウムでは、日本、米国、ヨーロッパ、アジアにおけるコミュニティ無線ネットワーク、ユーザ主導型無線ネットワーク、フェムトセルなどの技術動向やビジネス動向について、専門家による講演を行います。

研究者や専門家のみならず、多くの方の参加を心よりお待ち申し上げております。

- 1 日時 : 平成20年6月6日(金) 13時～
- 2 会場 : 明治記念館(東京都港区元赤坂2-2-23)
- 3 主催 : 社団法人電波産業会
独立行政法人情報通信研究機構
- 後援 : 総務省(予定)
- 協賛 : 情報通信月間推進協議会
- 4 テーマ : 「新たなアクセス系インフラストラクチャーへの期待」
- 5 定員 : 250名
- 6 参加費 : 無料
- 7 問合せ先 : 当会 小岩井、波戸(03-5510-8593)

*詳しくは、当会ホームページ

(<http://www.arib.or.jp/osirase/seminar/index.html>) でご案内いたします。

第70回規格会議開催のお知らせ

下記のとおり第70回規格会議を開催いたします。規格会議委員の皆様のご出席をお願いいたします。

記

- 1 日時 平成20年6月6日(金) 午前10時から12時まで
- 2 場所 プラザホール(霞が関ビル1階)
東京都千代田区霞が関3-2-5

なお、議案はARIBホームページ (<http://www.arib.or.jp/>) の「お知らせ」に掲載していますのでご参照ください。

ARIBの動き

第140回業務委員会が開催される

第140回業務委員会が開催されましたので、その概要をお知らせします。

- 1 日時 平成20年5月14日(水) 午後2時から3時30分まで
- 2 場所 当会第2会議室
- 3 議事概要

次の事項について事務局から報告及び説明がありました。

- (1) 2008年ARIB / ATSC定期会合
- (2) ARIB標準規格及び技術資料のダウンロードの状況
- (3) 技術委員会の新しい開発部会及び調査研究会の設置と委員募集状況
- (4) 当会の活動状況

電気通信・放送 行政の動き

平成20年度情報通信月間の実施 豊かな生活、拡がる信頼、ユビキタスネットワーク (平成20年5月14日総務省報道発表)

総務省及び情報通信月間推進協議会では、情報通信の普及・振興を図ることを目的に、「平成20年度情報通信月間」を平成20年(2008年)5月15日(木)から6月15日(日)の期間実施します。

月間期間中は、全国各地で情報通信に関する様々な行事が開催されます。それら行事を通して、豊かに安心して暮らせる社会を築いていく上で大きな役割を果たす情報通信について、国民の皆さまのご理解を求めています。

なお、期間中の6月2日(月)に、全国各地で記念式典を開催し、情報通信の発展に貢献された個人・団体に対し、総務大臣、情報通信月間推進協議会会長等から表彰を行います。

1 本年度テーマ

豊かな生活、広がる信頼、ユビキタスネットワーク

コンセプト：

「いつでも、どこでも、何でも、誰でも」ネットワークに簡単につながるユビキタス社会では、ICTによる豊かさが日常生活の隅々まで浸透し、生活の豊かさの向上や経済の活性化、社会課題の解決等の恩恵につながることが期待されています。このような社会を目指していくことを、本年度のテーマのコンセプトとしています。

2 行事

本月間中、全国各地で300件を超える行事が実施されます。参加行事の例は次のとおりです。なお、平成20年度情報通信月間参加行事一覧は、情報通信月間ホームページ (<http://jtgkn.com/>) に掲載されていますのでご参照下さい。

(行事内容等は予定のものもあり、変更となる場合がございます。)

なお、記念中央式典、各地で開催される行事例および連絡先等の詳細は、総務省ホームページの報道資料 (http://www.soumu.go.jp/s-news/2008/080514_1.html) をご覧下さい。

地上デジタルテレビ放送に関する浸透度調査の結果 (平成20年5月8日総務省報道発表)

総務省では、地上デジタルテレビ放送に関する浸透度調査を実施しました。本調査は、テレビ放送のデジタル化に関する認知の状況や地上デジタルテレビ放送対応受信機の普及状況等を定量的に把握し、今後の周知広報の取組に反映させるなど、その円滑な普及に資することを目的に実施したものです。

今回の調査結果では、地上アナログテレビ放送が終了することについての認知度は92.2%、その具体的な終了時期の認知度は64.7%となっているほか、地上デジタルテレビ放送対応受信機の世帯普及率は43.7%となっています。

総務省では、引き続き、地上デジタルテレビ放送の具体的な受信方法、デジタル化の意義等も含め、きめ細かな情報提供活動に取り組んで参ります。

1 調査概要

- (1) 調査実施時期： 平成20年2月27日より調査票発送開始
- (2) 対象地域： 全国47都道府県の全域
- (3) 対象者： 男女15歳以上80歳未満の個人
- (4) 有効サンプル数： 7,360

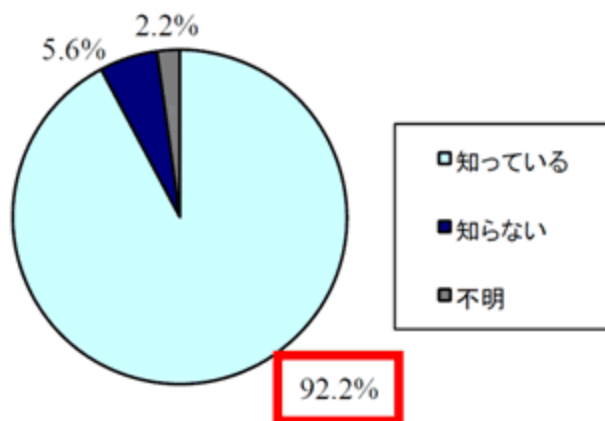
2 主な調査項目

- (1) 地上デジタルテレビ放送一般に関する認知度
- (2) 地上デジタルテレビ放送の受信方法等に関する認知度
- (3) 地上アナログテレビ放送停波に関する認知度
- (4) 地上デジタルテレビ放送対応受信機の世帯普及率
- (5) 地上デジタルテレビ放送の視聴状況と評価
- (6) 今後のデジタル化の予定
- (7) その他

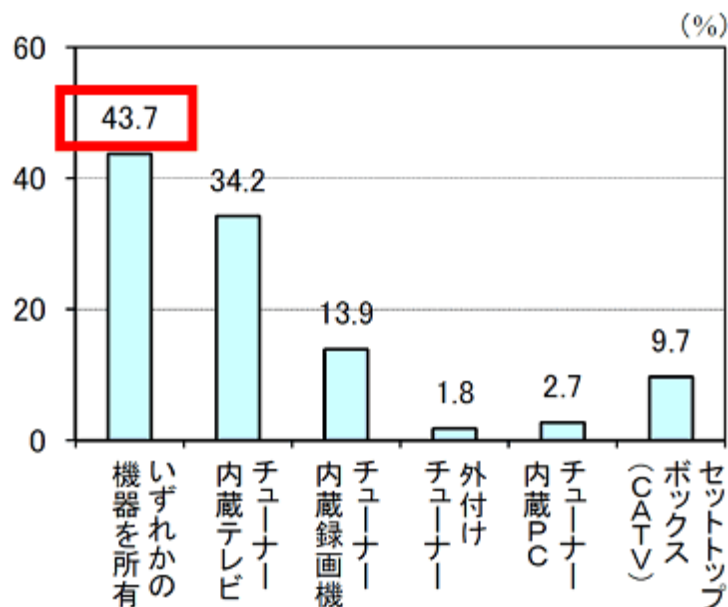
なお、具体的な調査結果、連絡先等の詳細は下記URLの総務省報道資料をご参照下さい。

http://www.soumu.go.jp/s-news/2008/pdf/080508_1.pdf

【アナログ放送停波の認知度】



【地上デジタル放送対応受信機の世帯普及率】



編集後記

ゴールデンウィークもすぎ、早くも5月下旬になろうとしています。新年度が始まってこらで一区切りをつけるためか、5月中旬から7月にかけて展示会

やセミナーなど各種の催しが目白押しです。ARIBニュース読者の皆様も一層多忙な時期だろうと思います。

先週は、編集子も展示会とセミナーに参加する機会がありましたが、展示や発表を行う側の意図と見学者の知識欲や好奇心がうまくかみ合っている場面というものは、端で見ている者にもエキサイティングなものだなと改めて感じました。

そのイベントの目的と参加者層に応じて訴えるポイントを適切に絞り、場所柄に合った展示方法と説明スタッフを選び、必要なお金は充分にかける。そんなことは此処でいまさら言うまでもないことだろうとは思いますが、なかなか行い難いことのひとつでもあります。

さまざまな展示や講演を見てこんなことを感じた一週間でした。

(tss)

[ページの先頭に戻る](#) ▲